



志津南ホームページ
<http://waka-kusa.net>

発行
 志津南地区まちづくり協議会
 連絡先
 草津市志津南市民センター
 077-563-6206

まち協だより

◇第11回理事会（平成25年12月7日）◇

- ①まちづくり協議会職員
平成26年度は2名を雇用。まち協職員2名で事務局を構成し、1名が事務局長、もう1名が事務局長。市民センターは事務局を支援する。
- ②小学校の防災倉庫の鍵
今まで小学校・市危機管理課・市前線基地班職員が保管していたが、12月からはまち協事務局（市民センター）でも保管することになった。
- ③「追分ユートピア」「パレットタウン」の住民の方々と12月1日に協議した結果、かがやきの丘町内会に加入するか、独自に町内会を立ち上げるかということになり、12月15日に住民の皆さんで協議することになった。
- ④各町内会の会則には、役員選定にあたっては諸事情に配慮するような規定があるが、より実効性のある規程を会則に盛り込むよう検討することとした。
- ⑤「単年度輪番制に関する弊害の解消」と「自主防災組織」については、各町内会の役員会における議論を踏まえて、1月4日の理事会で協議することとした。

◇第12回理事会（平成25年12月21日）◇

- ①臨時総会を1月26日に開催するので、1月18日の理事会で議案書の承認、1月20日に議案書の全戸配付、総会実施後に議事録の全戸配付をする。
平成26年度の定時総会を4月20日に予定しているので、各町内会の総会を4月19日までに開催していただく。議案書は3月29日の新旧理事による合同理事会で承認されたあと全戸配付し、総会実施後に議事録を全戸配付する。



説明会では、4町内会から5月24日に志津南地区まちづくり協議会への加入申し入れがあったことから、6月20日に行われた4町内会との協議で、志津南地区まちづくり協議会の仕組みについて説明を行ったこと、その後、各町内会と個別に協議を進め、かがやきの丘

説明会では、4町内会から5月24日に志津南地区まちづくり協議会への加入申し入れがあったことから、6月20日に行われた4町内会との協議で、志津南地区まちづくり協議会の仕組みについて説明を行ったこと、その後、各町内会と個別に協議を進め、かがやきの丘

追分南地区加入で住民説明会

合意の方向、26年度にも実現

志津南地区まちづくり協議会は12月15日、22日の二回にわたって、追分南地区

（旧追分町）4町内会のまち協加入に関する住民説明会を市民センターで行いました。

これに先立ち、11月2日に理事会、11月8～10日に各種団体代表者への説明と意見交換を経て、今回住民説明会を開催したものです。

まち協側の説明に対し、活発な質疑が行われ、基本的に各町内会としての活動には変化はなく、各町内会から専門委員が出ていただいている各委員会の活動が、対象人数が増え、対象区域が広がることになることを理解していただきました。

今後は、1月26日（日）の臨時総会で審議・議決し、協議を進めている3町内会と合意書を交わして、平成26年度から「志津南学区まちづくり協議会」に移行す

ることになります。

なお、残り1町内会とは引き続き話し合いを進めていく予定です。

26日に臨時総会

まちづくり協議会は1月26日（日）10時から、平成25年度臨時総会を市民センターで開催します。

今回の臨時総会は、追分南地区4町内会のまちづくり協議会加入の申し入れを受けて開催されるもので、次の3つの議案について審

議されます。

1号議案は「追分南地区4町内会の加入申し入れに対する承諾について」で、住民説明会で皆さんにお伝えしたように、加入申し入れに対しては承諾する方向で進んでいます。

2号議案は「まちづくり協議会会則の改正について」で、平成26年度から3町内会が加入することに伴って、必要な改正を行うものです。

3号議案の「広報事業規則の改正について」も、3町内会の加入に伴い改正するものです。

「ゾーン30」の標識設置

志津南地区の交通安全対策として導入がまわっていた「ゾーン30」が警察と市との協議が整い、1月上旬に規制標識が設置されました。



規制標識は、幹線道路から

ら各ブロックへの出入りに設置され、その時点から各ブロック内の道路は時速30kmの規制がかかっています。

2月には出入りに「ゾーン30」の路面標示が設置されます。

また物理的対策としてのハンブ1箇所、路側帯3路線については、平成26年度に着工される予定です。ハンブや路側帯が設置されたのち、改めて交通量調査や速度測定調査などを実施し、その効果を確認することになっています。

回顧 わが町2013

- 【1月】**
 - 6日 岡本西が自主防災活動で市長表彰を受ける。
 - 19日 スクールガードが市PTA大会で2度目の受賞。
- 【2月】**
 - 6日 志津南賞1年生が若寿会と昔遊び楽しむ。
 - 17日 体振が第1回ボウリング大会開催。大人と子ども50人が参加。
 - 24日 社協がふれあいコンサート。50人が演奏楽しむ。
- 【3月】**
 - 17日 まち協移行で予算手続きを一部変更。予算調整会議が策定することに。
 - 20日 くるみ保育園が最後の卒園式。4月から追分町に移転。
- 【4月】**
 - 28日 25年度まち協総会開催。新会長に中原氏再選。
 - 30日 志津南小に新校舎完成。
- 【5月】**
 - 22日 市民センター高齢者教室「やすらぎ学級」開講。
 - 24日 追分4町内会が志津南まち協に加入を申し入れ。学区変更による長年のねじれ解消目指す。
- 【6月】**
 - 9日 第16回市スポレク祭で若草がディスコン3位に。
 - 20日 まち協加入申し入れて追分4町内会と初会合。
 - 29日 自主防災委が7年ぶりに災害図上訓練。30日も。
- 【7月】**
 - 13日 市民センターで市クリーンセンターのアセス住民説明会。
 - 27日 第16回夏まつり開催。前回上回る4000人が集う。
- 【8月】**
 - 22日 地域内30ヶ所規制の「ゾーン30」の10月導入決まる。
 - 31日 CATV検討委がセキュリティシステムで中間報告。
- 【9月】**
 - 7日 社協「絆」が市社協ボランティアフェスに初参加。
 - 16日 台風18号特別警報発令で敬老会が中止に。
- 【10月】**
 - 6日 第9回地区スポーツまつりに300人集う。
 - 8日 自主防災組織検討委がまち協に答申書提出。
 - 20日 雨中の総合防災訓練に250人が参加。
- 【11月】**
 - 17日 第3回みなくさままつりに志津南が2年連続たこ焼き屋台出店。
 - 24日 市総合防災訓練避難所運営訓練にまち協役員らが参加。
- 【12月】**
 - 15日 追分南4町内会加入問題でまち協が住民説明会。22日も。



ふれあい文化祭にぎわう

日頃の活動成果を発表したり、活動そのものを地域の方に紹介したいと集まった18の団体が実行委員会を組織し、企画・運営したもので、クリスマスムードいっぱい飾りつけやステージ発表の進行なども実行委員全員が協力して、手作りりの文化祭となりました。

志津南市民センターで活動するサークルが一堂に会する第3回志津南ふれあい文化祭が12月13日、14日の2日間、同センターで開催され、150名を超える方々にぎわいました。

サロンでは、俳句、書道活花、手芸、色鉛筆画、刺繍等の心のこもった作品の数々が展示されました。また運動系サークルの紹介や刺繍の実演も行われ、来場者の交流も花が咲いていました。

会議室では健康バンドを使った筋トレ運動の体験会に始まり、かわいいキッズダンス、午後からはお馴染み「湖南ギターアンサンブル」の心温まるギター演奏、艶やかな日本舞踊に続き、客席も一緒に楽しむ懐メロやカラオケが行われ、会場一体となって声を合わせていました。志津南小学校アトクラブの砂絵作品も会場に色を添えました。

途中、今回目の試み「お楽しみ抽選会」も行われ、地域の方提供の賞品を当たりに盛り上がっていました。活動日が遅えばなかなか出会う機会のない同センター利用者ですが、文化祭を通じて

して他サークルの活動を知り、交流を深めることができました。

クリスマス演奏会

志津南やすらぎ学級第7回講座が12月18日、志津南市民センターで開催され、学級生42人が参加しました。今回は、地域サロン懐メロを歌う会代表で、ギター奏者の村井教夫さんを招き「クリスマス演奏会」と題して、参加者がギター演奏に合わせ、クリスマスソングを歌いました。



各クリスマスソングの由来を聞きながら、「きよしこの夜」「ジングルベル」や賛美歌「星の界(よ)」や「アメイジンググレイス」など10曲を歌いました。英語で歌う「ホワイトクリスマス」も新鮮で、ギターに合わせ自然と体リズムをとっている人もいました。ギター

の調べと参加者の歌声で、会場は温かいクリスマススの雰囲気包まれ、最後に「お正月」を歌って演奏会を終了。その後、学級生は各サークルに分かれ、クリスマス会を楽しみました。

「こっこ」12月5日、「おやこっこ」が同12日、それぞれ志津南市民センターでクリスマス会を開催、あわせて70人が参加しました。

両サークル代表の山出さん、中村さんの進行で、親子は歌をうたったり、絵本の読み聞かせ、工作ではサンタクロスを開く。

「ありがとつ」といって、一足早いクリスマス会を過ごしました。(民児協)

若草文庫もXマス会

クリスマス、お菓子で思い思いに飾りつけユニークなデザインのカッキーが次々と完成。折り紙でサンタも折りました。



若草文庫も12月18日、若草第三集会所でクリスマスケーキを飾りつけ。親子連れや学校から帰宅した子どもたち20人余りが三々五々やってきて、チョコ、果物

若草文庫(毎週水曜日午後2時から5時)は1月8日(水)から本の貸し出しを始めます。本の好きな方一度見に来てください。きつと読みたい本が見つかりますよ。またどんぐりクラブ(乳幼児対象)も同時に開いています。おもちゃもたくさんあります。どうぞ遊びに来てください。お待ちしています。(若草文庫)

南っ子にこにこ人権集会

志津南小学校（埴岡美江子校長）は12月6日、同校体育館で「南っ子にこにこ人権集会」を開きました。写真。

これは人権週間に合わせて、子どもたちが「志津南小学校が笑顔いっぱいになるにはどうしたらよいか」を考えようという取り組みで、12月2日～6日を「南っ子にこにこ人権週間」として、朝の放送で先生から友だちを大切にすることや感謝の気持ちを持つことなどについての話を聞き、人権集会にみんなで歌う歌の練習をしてきました。

また、「希望の木」と題して、一人ひとりが、友だちや家族・地域の人に「あり



がとう」の気持ちをカードに書いたり、学級ごとに「はじめをしない」「友だちを大切にする」などのスローガ

25日に人権講座

志津南地区人権教育推進委員会、市民センターは次の要領で人権講座ならびに町内学習懇談会結果報告会を開催します。

▽日時 1月25日（土）

19時～20時30分

▽会場 志津南市民センター 第一会議室

▽内容 ①町内学習懇談

ンも書きました。

そして集会当日のこの日、体育館いっぱい各学級でつくったスローガンと希望

会結果報告会②人権ライブ「浪速の歌う巨人パギヤン 志津南に参上！」「ヨイトマケの唄」ほかの歌あり、お話ありの講座です。

▽講師 シンガーソングライター＆歌劇派芸人 趙博（ちやう・ぼく）さん

▽参加費 無料

▽問い合わせ 同市民センター。

電話（563）62006

の木が貼り出され、集会が始まりました。まず学級ごとにスローガンとそれに込めた思いを発表。続いて「本を読もうよ委員会」の児童による本の読み聞かせがありました。気持ちを込めて発表したり読んだりするのを児童たちは真剣に聞いていました。

このあと、同校の先生たちによる人権劇が上演されました。「見たのに知らないふり」というタイトルで上演された劇は、みんなで遊んでいる中に入れてもらえなかった子どもの気持ちや、その時一緒にいた人や見ていた人はどうしたらいいのかを問いかける劇でした。子どもたちは、身近な先生が演じていることや、日常的にありそうな場面が登場したこともあって、熱心に見入っていました。最後に、全校で「ベストフレンド」を歌い、集会を終えました。

終わりのあいさつをした児童は「今日の南っ子にこにこ人権集会で、友だちに對する思いは変わりましたか？みなさんは、友だちを傷つけたことはありませんか？ぼくは、この人権集会を通して、友だちがいいなあと改めて思いました。

楽しく藍染め体験



友だちがいらない学校を想像したことはありませんか？学校というのは、友だちと楽しみ、お互いに学びあい、高めあう場所です。これからも、友だちを大切に、笑顔いっぱい志津南小学校にしましょう。」（Y）

志津南地区子ども会は11月30日、志津南市民センターで「楽しくみんなで作ろう『藍染めオリジナルエコバック作り』」をテーマにエコバックの染め体験を行いました。写真。

参加した34人の子どもたち五つの班に分かれ、アトリエおれんじの埴田有貴さん（守山市）の指導で作業を進めていきました。固形の藍をつぶして少量のお湯を加えると強烈な臭気、子どもたちは鼻をおさえながら、混ぜていました。

子ども料理教室

志津南地区健康推進員連絡協議会は12月21日、「親子でパーティ寿しをつくらう」の料理教室を開催、子ども24名、大人33名が参加しました。

その後は、各々がオリジナルの模様が出るよう、布を洗濯バサミでとめたり、豆やかまぼこ板などを輪ゴムでしばったりしました。お湯で溶かした染めの液にカバンを漬け、しばらくしてから取り出すと藍色がパァーっとでてきてとても



みんなの作品展

「第二の男」を上映 志津南市民センターは12月21日、第8回シニアのつどいとして「第三の男」（一九四九年度作品）を上映しました。

きれいでした。その後、子どもたちは白い布に布用絵具で好きな絵を描きました。出来上がりは少し先になりますが、どんな作品に仕上がるのか楽しみに帰りました。（子ども会）



志津南市民センターは11月28日から12月3日までシニアのつどい「みんなの作品展」を開催しました。写真。草津市民を対象に作品を募集し、絵画、写真、手芸、陶芸、書道など、計29点が

集まりました。観賞された方は「ご近所さんにこんな特技があったなんて知らなかった」「プロ級！」「ご夫婦で出品されている方もいて、素敵ですね」と個性の光る力作に感心しきり。5日間で約三百人近い方々に見ていただき、市民センターがまるでギャラリーのようになりました。町の方々の芸術的な一面を知る作品展となりました。

「第三の男」を上映

志津南市民センターは12月21日、第8回シニアのつどいとして「第三の男」（一九四九年度作品）を上映しました。

オーソンウェルズ主演で、失踪した親友を追って行方不明の謎にせまるサスペンス映画ですが、内容もさることながら、テーマ曲が有名で、マンドリンの音色に似たチャターという楽器の調べが流れると、参加者から「そう、この曲」という声が上がっていました。

「若かりし頃、映画音楽に憧れ、よく聴いた」「本心に懐かしい」と昔を振り返っていました。

やさしき

学級生募集

志津南市民センターは平成26年度「やすらぎ学級」の受講生を募集します。

▽日時 5月から翌年3月までの毎月第4水曜日、午後1時30分～同3時(全10回)

▽会場 同市民センター
▽対象 草津市在住の60歳以上の方

▽内容 健康や教養、防災音楽鑑賞などの楽しい講座や役立つ学習を計画しています。スポーツ、カラオケ、川柳などのサークル活動、パズルの館外学習もあります。

▽参加費 千円(受講料六百円を含む)

▽受け付け 平成26年1月16日から随時受け付け
▽問い合わせ 同市民センター

こよみ

□1月18日(土)
☆健康ウォーキング(若寿会)
8:45 若草中央公園集合

□1月22日(水)
★やすらぎ学級
13:30～17:00

□1月25日(土)
☆社会奉仕
8:30 若草中央公園集合

□1月28日(火)
★地域サロン:懐メロを歌う会
10:00～11:30

□2月1日(土)
☆健康ウォーキング(若寿会)
8:45 若草中央公園集合

□2月7日(金)
★ふれあい昼食会
12:00～13:00
ボランティア「泉」

□毎週金曜日
☆ふれあい喫茶(お茶の間)
10:00～12:00
第五集会所

★印の場所は志津南市民センター(公民館)です

電話(563)6206
多数のご応募をお待しています。

防災講座生募集

志津南市民センターは第8回やすらぎ学級「笑って納得!防災講座」を開催しますが、今回は公開講座としますので、学級生以外の方もご参加下さい。

▽日時 1月22日(水)
13時30分～15時

▽会場 同市民センター

▽対象 草津市在住の60歳以上の方

▽内容 防災クイズ、漫才、腹話術を交えて楽しみながら実用的な防災について学びます。新聞紙で簡単スリッパ作り(材料は市民センターで用意)もあります。

▽講師 たかしま災害支援ネットワークなまず田直子さん

▽参加費 無料
▽申し込み不要
▽問い合わせ 同市民センター
電話(563)6206

来月1日に

文章講座

志津南市民センターは第9回志津南シニアのつどい事業「自分つれづれを書きませんか?」を次の通り開催します。

▽日時 2月1日(土)
13時30分～14時30分頃

▽会場 同市民センター

▽対象 草津市在住の方
▽内容 気軽に楽しく文章を書くコツ、日頃の出来事を書き留めるコツを学ぶ。

▽講師 元京都新聞社論説委員、エッセイスト熊谷栄三郎さん。著書に「新ふるさと事情」(朝風社)他。草津市コミュニティ事業団発行「コミュニティくさつ」に「徒然草津」を連載中。

▽定員 なし
▽参加費 無料
▽問い合わせ 同市民センター
電話(563)6206

来月8日に

すこやかセミナー

志津南地区青少年育成委員会は「第二回すこやかセミナー」を次の通り開催します。

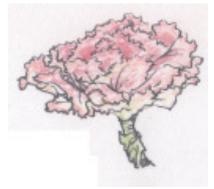
▽日時 2月8日(土)
13時30分から

▽場所 志津南市民センター1会議室

▽内容 「びわ湖源流の森」の里「職員さんを講師に招き、びわ湖源流の森の実態について、自然生態・教育・地域づくりの視点で解説していただきます。

▽申し込み 不要
▽参加費 無料
自然環境・環境教育・地域づくりにご興味のある方はぜひご参加ください。

折々の記



部座席の間に小さな缶が置いてあり、降りるときに乗客が払える金額をその中に入れるのです。

私は当初この習慣に慣れず、いつもいくら支払うべきか聞いていました。答えはいつも「AS YOU LIKE」(払おうと思うだけ)です。エリックは「このシステムで多くのドライバーはお金を稼ぎ生活出来ているので問題ない。金持ちは多く払うし、そうでない人の金額は少ない。それでいい」と答えました。

5年前のことですが、デリーに着く飛行機が5時間遅れ、夜中の3時頃やっと空港に着きました。深夜のデリー空港は物騒で薄気味悪く、悪いタクシーの呼び込みの中で、彼が待っていてくれたのです。感激しました。その日いつもの700ルピー(約2000円)ではなく3000ルピー(約1万円)を缶の中に入れてみました。彼はそれを、いつもの通り金額を見ようとしませんでした。翌日ホテルに私を迎えに来た彼は、第一声、「どうして昨日3000ルピーもの大金を支払ったのか」と聞き

ました。私は「5時間も空港に待ってもらったのだから」と答えました。彼は納得せず支払ったルピーは返されませんでした。彼いわく「私が深夜に空港で待ったのはあなたが困るだろうとの好意から。好意は見返りを求めないのがヒンドウの教えだ」と。その言葉に胸を打たれました。それ以来、乗り心地は良くないですがずっと彼のタクシーを利用しています。

エリックのこと

一昨年デリー出張時、エリックから故郷のパンジャブに帰り、夢だった自給自足の生活を送ると聞かされました。最後に彼の申し出で私と彼が並んで写真を取りました。なんでもIT企業に勤める長男が子供を将来日本の大学にやりたいとのこと。孫が日本に行くことがあれば、この写真を持って私を訪ねてほしいかと尋ねられました。私は日本はインドと違い個人の写真は役所に登録されておらず、写真で私を探るのは不可能。私の住所を訪ねればいいと答えました。彼の2歳のお孫さんが大きくなり私を訪ねて来る時まで元気で長生きしたいと思っています。

(七丁目 Y・A)